

別表記入要領

『別表 1（建築物に係る解体工事）』

（１） 建築物の構造

解体する建築物の構造の種類により、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。混構造の場合には該当する構造全てにチェックマークを付してください。

（２） 建築物に関する調査の結果

① 建築物の状況

建築物のおおよその築年数について記載してください。また、複数棟ある場合は、全棟について記載してください。

例)

工作物の状況	築年数 <u>30</u> 年 棟数 <u>1</u> 棟
	その他 (屋根に破損部分あり)

② 周辺状況

工事現場の周辺の状況について、周辺にある施設の該当するチェックボックスすべてにチェックマークを付してください。

隣地の敷地境界線と当該構造物との最短距離を記載してください。

また、隣家の建物に近接しているなどの周辺状況は、工事現場の状況により安全確保が必要であるかの判断基準となります。『その他』に、例えば、隣地は住宅地か、農地か、河川敷かその他、搬出する前面道路の幅員、交通量の多少など、周辺状況について具体的な状況を記載してください。

例)

周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校
	☒ 病院 ☐ その他 ()
	敷地境界線との最短距離 約 <u>1</u> m
	その他 (住宅密集地内)

・敷地は〇〇団地内、建物が隣地と近接

・周辺畑地

・水田、農道（幅員 3 m）あり、交通量少ない など

（３） 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容

① 作業場所

解体用機械の設置場所及び分別作業を行うための作業場所について、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。また、現状で作業場所がない場合には、その状況を記載してください。

工事着手前に実施する措置の内容として、障害物がある場合や、前面道路の幅員が狭い場合には、そのための対策を記載してください。

例)

	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他（隣地の使用必要）	隣地使用の承諾済、道路使用許可済

(建築物に関する調査の結果の記載例)

- ・ 工作機械の設置場所はあるが、分別解体スペースなし など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・ 廃棄物を分別する空地が不足しているため、隣地を借用する
- ・ 立木の除去を行う など

② 搬出入経路

廃棄物の発生する現場から、搬出を行う道路までの搬出経路の状況について、段差、樹木、工作物などの障害物の有無や通学路の有無を該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、搬出入に利用する道路の幅員、その他、交通規制の状況などチェックボックスにないものはその他に記載してください。

工事着手前に実施する措置の内容として、障害物がある場合や、前面道路の幅員が狭い場合には、その対策について記載をしてください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4</u> m 通学路 ☒ 有 () ☐ 無 その他（大型車両通行不可）	道路通行許可手続き、施工計画に車両通行時間帯を配慮

(工作物に関する調査の結果の記載例)

- ・ 立木あり、
- ・ およそ 50 c m の段差あり、
- ・ 未舗装
- ・ 前面道路（片側 2 車線、幅員 22m） など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・ 搬出入用道路が狭いため道路使用許可を得て通行止めを行い搬出する
- ・ 搬出入経路確保のため鉄板敷を準備 など

③ 残存物品

解体する建築物の内部や敷地内に、家電製品やタンス等の残存物品が有るか無いか、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。「有」の場合は品目について記載してください。

また、残存物品がある場合には、その措置等について記載してください。

例)

	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
残存物品	☒ 有 (エアコン) ☐ 無	工事施工までに引き取り依頼済

④ 特定建設資材への付着物

解体する建築物の特定建設資材に、吹付石綿等の付着が有るか無いか、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。

また、付着物がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
特定建設資材への付着物	☐ 有 () ☒ 無	

(工作物に関する調査の結果の内容の記載例)

- ・特定建設資材に付着した飛散性の石綿
- ・特定建設資材に付着した非飛散性の石綿 など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会とは協議済み、 ・周辺住民への周知、
- ・吹付石綿の適正処理対策の実施 など

⑤ その他

建築物解体時に有害物質の発生がある場合、種類・発生箇所等について記載してください。
また、有害物質の発生がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
その他	特定建設資材に付着していない飛散性の 石綿	近隣対策及び諸官庁届出済 アスベスト適正処理

(建築物に関する調査の結果の内容及び工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・鉄骨等の特定建設資材以外のものに吹付けられた石綿→諸官庁に届出後、着手前に適正除去
- ・非飛散性であるが適切な措置を講じないと解体により飛散することが見込まれる石綿
→湿潤化等の飛散防止を図り手作業で除去
- ・変電施設、PCB使用トランス→諸官庁に届出後、着手前に撤去搬出
- ・PCB含有シーリング材 →着手前に手作業除去
- ・CCA等の防腐・防蟻材 →分別して処分場で埋立若しくは焼却処分

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会との協議済み、
- ・周辺住民への周知、
- ・吹付石綿の適正処理対策の実施、
- ・PCB使用機器の適正処理の実施
- など

(4) 工程ごとの作業内容及び解体方法

① 建築設備・内装等

建築設備及び内装材等の取り外しの有無、分別解体等の方法についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。この工程における分別解体等の方法は、原則として手作業であることが施行規則に定められています。機械併用の場合にはその理由を記載してください。

建築設備には、原則として軒樋、堅樋等は含まず、受水槽や屋内の建築設備を対象とします。また、軒樋、堅樋は外装材として取り扱います。

なお、機械併用の理由として工期短縮のため等の理由は、法の趣旨から認められません。

② 屋根ふき材

屋根ふき材の取り外しの有無、分別解体等の方法についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。この工程における分別解体等の方法は、原則として手作業であることが施行規則に定められています。機械併用の場合にはその理由を記載してください。

また、瓦等が存在しない場合、屋根ふき材の取り外しは「無」となります。

機械併用の理由としては、労働安全衛生法に基づき足場、命綱等の設備を設置してもなお、屋根版の腐朽、トタン屋根のためすべりやすいなど、屋根上での作業に危険が伴う場合等が考えられます。

なお、上記①と同様に工期短縮のため等の理由は、認められません。

③外装材・上部構造部材

外装材及び上部構造部材の取り壊しの有無、分別解体等の方法についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。

④基礎・基礎ぐい

基礎及び基礎ぐいの取り壊しの有無、分別解体等の方法についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。

⑤その他

その他の取り壊し工事の有無、分別解体等の方法についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。その他の取り壊し工事がある場合には工程欄カッコ内に具体的な工程を記載してください

(5) 工事工程の順序

該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。その他の場合には、その工程の順序及び理由を記載してください。

理由としては、複数の工程を同時に行う場合や一部の工程の工事が無い場合などが考えられます。

(6) 内装材に木材が含まれる場合

内装材に木材が含まれている場合には、あらかじめ分別に支障となる木材と一体となった石膏ボード等の建設資材を取り外した上で当該木材を取り外す必要があります、(4) ①の工程における順序の可、不可についてチェックボックスにチェックマークを付してください。

不可の場合は、石膏ボードと木材が密着しているため等不可理由を記載してください。

(7) 建築物に用いられた建設資材の量の見込み

建築物に用いられた建設資材について、特定建設資材だけでなく全ての資材について記載する必要がありますので、「(8) 廃棄物発生見込量」に記載された合計トン数以上の数字になっていることを確認してください。

なお、数量については四捨五入による整数表示でかまいません。

(8) 廃棄物発生見込量

発生する特定建設資材廃棄物の種類ごとに該当するチェックボックスにチェックマークを付して、発生量の見込みを記載してください。「発生が見込まれる部分」欄には、様式下欄の「(注)」に従い、以下のようにチェックボックスに適切にチェックマークを付してください。(コンクリート及び鉄から成る建設資材についてはコンクリート塊に含まれます。アスファルト・コンクリートとは「瀝青材料(アスファルト)」、「骨材」、「フィラー」、「安定剤」等からなる材料のことをいいます)。

なお、数量については四捨五入による整数表示でかまいません。

(9) 備考欄

備考として記載する内容があれば記載してください。

別表記入要領

『別表 2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）』

（1）使用する特定建設資材の種類

工事に使用する特定建設資材について、種類ごとにチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、発生する特定建設資材廃棄物ではなく、使用する特定建設資材が対象であるため注意してください。

（2）建築物に関する調査の結果

①建築物の状況

新築工事の場合は空欄で構いません。増築又は修繕・模様替等の場合には既存建築物の状況を記載してください。建築物のおおよその築年数について記載してください。また、複数棟ある場合は、全棟について記載をしてください。

例)

工作物の状況	築年数 <u>30</u> 年 棟数 <u>1</u> 棟
	その他 (屋根に破損部分あり)

②周辺状況

工事現場の周辺の状況について、周辺にある施設の該当するチェックボックスすべてにチェックマークを付してください。

隣地の敷地境界線と当該構造物との最短距離を記載してください。

また、隣家の建物に近接しているなどの周辺状況は、工事現場の状況により、安全確保が必要であるかの判断基準となります。『その他』に、例えば、隣地は住宅地か、農地か、河川敷かの他、搬出する前面道路の幅員、交通量の多少など、周辺状況について具体的な状況を記載してください。

例)

周辺状況	周辺にある施設 ■住宅 □商業施設 ■学校
	□病院 ■その他 (幼稚園)
	敷地境界線との最短距離 約 <u>2</u> m
	その他 (県道交通量多し、民家密集)

- ・敷地は〇〇団地内、建物が隣地と近接
- ・周辺畑地 ・住宅地 ・水田、農道（幅員 3 m）あり、交通量少ない
- ・市街地、前面道路（片側 2 車線、幅員約 22 m） など

(3) 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容

①作業場所

工作機械の設置場所及び分別作業を行うための作業場所について、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。また、現状で作業場所がない場合には、その状況を記載してください。

工事着手前に実施する措置の内容として、障害物がある場合や、前面道路の幅員が狭い場合には、そのための対策について記載してください。

例)

	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
作業場所	作業場所 ■十分 □不十分 その他 ()	隣地使用の承諾済、道路占用許可済、道路 使用許可済

(建築物に関する調査の結果の記載例)

- ・ 100 m²確保可能なため、支障なし
- ・ 工作機械の設置場所はあるが、分別解体スペースなし など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・ 廃棄物を分別する空地が不足しているため、隣地を借用する
- ・ 立木の除去を行う
- ・ 着手と同時に構造物の一部を除却し、作業場所を確保する など

②搬出入経路

廃棄物の発生する現場から、搬出を行う道路までの搬出経路の状況について、段差、樹木、工作物などの障害物の有無や通学路の有無を該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、搬出入に利用する道路の幅員、その他、交通規制の状況などチェックボックスにないものはその他に記載してください。

工事着手前に実施する措置の内容として、障害物がある場合や、前面道路の幅員が狭い場合には、その対策について記載をしてください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4</u> m 通学路 ☒ 有 () ☐ 無 その他 (大型車両通行不可)	道路通行許可手続き、施工計画に車両通行時間 帯を配慮

(工作物に関する調査の結果の記載例)

- ・立木あり、 ・およそ 50 c m の段差あり、 ・未舗装
- ・前面道路 (片側 2 車線、幅員 22m) など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・搬出入用道路が狭いため道路使用許可を得て通行止めを行い搬出する
- ・鉄板敷きを施工し搬出経路を確保する
- ・前面道路が狭いため 2 t トラックにて搬入 など

③特定建設資材への付着物 (維持・修繕工事のみ)

新築工事の場合は記載不要です。修繕・模様替等をする建築物の特定建設資材に、吹付石綿等の付着が有るか無いか、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。

また、付着物がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有 () ☒ 無	

(工作物に関する調査の結果の内容の記載例)

- ・特定建設資材に付着した飛散性の石綿
- ・特定建設資材に付着した非飛散性の石綿 など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会との協議済み、 ・周辺住民への周知、
- ・吹付石綿の適正処理対策の実施 など

④ その他

修繕・模様替等の実施時に、有害物質の発生がある場合などは、種類・発生箇所等について記載してください。

注) 無い場合は「無し」と記載してください。

また、有害物質の発生がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
その他	変電施設	諸官庁届出済 収集運搬許可事業者に委託済

(建築物に関する調査の結果の内容及び工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・鉄骨等の特定建設資材以外のものに吹付けられた石綿→諸官庁に届出後、着手前に適正除去
- ・非飛散性であるが適切な措置を講じないと解体により飛散することが見込まれる石綿
→湿潤化等の飛散防止を図り手作業で除去
- ・変電施設、PCB使用トランス→諸官庁に届出後、着手前に撤去搬出
- ・PCB含有シーリング材 →着手前に手作業除去
- ・CCA等の防腐・防蟻材 →分別して処分場で埋立若しくは焼却処分
- ・特定建設資材に付着していない飛散性の石綿 →諸官庁に届出後、着手前に適正に除去 など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会との協議済み、 ・周辺住民への周知、 ・吹付石綿の適正処理対策の実施、
- ・PCB使用機器の適正処理の実施 など

(4) 工程ごとの作業内容

①造成等

造成等工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、造成等の工事が対象建設工事に該当する場合は、別途届出が必要となります。

②基礎・基礎ぐい

基礎・基礎ぐい工事の有無についてチェックボックスチェックマークを付してください。

③上部構造部分・外装

上部構造部分・外装工事の有無についてチェックボックスにチェックを付してください。

④屋根

屋根工事の有無についてチェックボックスにチェックを付してください。

⑤ 建築設備、内装等

建築設備・内装工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。

建築設備には、原則として軒樋、堅樋等は含まず、受水槽や屋内の建築設備を対象とします。また、軒樋、堅樋は外装材として取り扱います。

⑥ その他

仮設工事など、その他の工事の有無についてそれぞれチェックボックスにチェックマークを付してください。その他工事がある場合には工程欄カッコ内に具体的な工程を記載してください。

(5) 廃棄物発生見込量

発生する特定建設資材廃棄物の種類ごとに該当するチェックボックスにチェックマークを付して、発生量の見込みを記載してください。「発生が見込まれる部分又は使用する部分」欄には、様式下欄の「(注)」に従い、以下のようにチェックボックスに適切にチェックマークを付してください。(コンクリート及び鉄から成る建設資材についてはコンクリート塊に含まれます。アスファルト・コンクリートとは「瀝青材料(アスファルト)」、「骨材」、「フィラー」、「安定剤」等からなる材料のことをいいます)。

なお、数量については四捨五入による整数表示でかまいません。

① 「新築・増築・修繕・模様替工事」の場合

特定建設資材が**使用される工作物**の部分にチェックマークを付してください。

② 「維持・修繕工事」の場合

特定建設資材廃棄物の**発生が見込まれる工作物**の部分にチェックマークを付してください。

③ 双方に該当する場合

該当箇所の全てについてチェックマークを付してください。

④ その他

使用する部分及び発生が見込まれる部分に関する記入欄のため、「種類」欄と「使用する部分等」欄は連動してチェックマークを付してください。

新築工事等である場合において、特定建設資材が使用されるが、廃棄物が発生しない場合は、「量の見込み」欄に0(ゼロ)を記入してください。

(6) 備考欄

備考として記載する内容があれば記載してください。

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

分別解体等の計画等

使用する特定建設資材の種類		☐ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材			
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数____年、棟数____棟 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約____m その他()			
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()			
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約____m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()			
	特定建設資材への付着物(修繕・模様替工事のみ)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(吹き付け石綿等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有ビニル床タイル等) ☐ その他() ☐ 無	各工程に解体工事の有無を問わず、各工程の有無の記入をお願いします。		
	その他(特定建設資材への付着物以外の有害物質等の状況)(その他必要事項を記載)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(鉄骨等に吹付けられた石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有建材) ☐ その他() ☐ 無 その他			
工程ごとの作業内容	工程	作業内容			
	①造成等	造成等の工事 ☐ 有 ☐ 無			
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ☐ 有 ☐ 無			
	③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ☐ 有 ☐ 無			
	④屋根	屋根の工事 ☐ 有 ☐ 無			
	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ☐ 有 ☐ 無			
	⑥その他	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無			
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
	使用又は発生が見込まれる特定建設資材(右欄)についてチェックをお願いします。使用の場合、コンクリート塊はコンクリート、As・コンクリート塊はAs・コンクリート及び建設発生木材は木材と読み替えてください。	☐ コンクリート塊		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ アスファルト・コンクリート塊		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ 建設発生木材		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
備考	①外装 ②屋根 ③建築設備・内装等 ④その他				
		特定建設資材廃棄物の発生がある場合に発生見込み量を記入してください。		特定建設資材を使用する部分又は発生が見込まれる部分の記入をお願いします。	

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表記入要領

『別表 3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）』

（１）工作物の構造（解体工事のみ）

解体工事以外の工事の場合には記載の必要はありません。
解体工事^{（注）}の場合は、そのチェックボックスにチェックマークを付すとともに、鉄筋コンクリート造以外の場合には「その他」欄に当該工作物の構造について具体的に記入してください。

例）・アスファルト造、木造など
（注）別表 3 において、解体工事とは、橋梁の架替における旧橋撤去工事、不要になった迂回路の撤去工事など、その機能の全て又は一部を完全に失う場合に限られます。

（２）工事の種類

上欄、下欄のそれぞれのチェックボックスにチェックマークを付してください。（新規築造の土木工事の場合は、新築工事のチェックボックスにマークする。）その他工事の場合はカッコ内に、排水路設置、水門設置など具体的な工作物の種類を記入してください。

（３）使用する特定建設資材の種類

新築または維持・修繕工事の場合は、使用する全ての特定建設資材のチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、解体工事のみの場合は記入する必要はありません。

（４）工作物等に関する調査の結果

①工作物の状況

維持修繕工事若しくは解体工事の場合に記載してください。（新築工事の場合は空欄で構いません。）対象工作物のおおむねの築造経過年数を記載してください。また、工作物が複数の場合は、全てについて記載してください。

例)

工作物の状況	築年数 <u>40</u> 年
	その他 ()

・昭和 30 年築造 など

②周辺状況

工事周辺状況
工事現場の周辺の状況について、周辺にある施設の該当するチェックボックスすべてにチェックマークを付してください。また、敷地内での工事の場合、隣地の敷地境界線と当

また、隣家の建物に近接しているなどの、周辺状況は、工事現場の状況により、安全確保が必要であるかの判断基準となります。『その他』に、例えば、住宅地か、農地か、河川敷かその他、搬出する前面道路の幅員、交通量の多少など、周辺状況について具体的にその状況を記載してください。

周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☒ その他（ ） 敷地境界線との最短距離 約 <u> 3 </u> m その他（ 県道交通量多し、民家密集 ）
------	--

- (5) 工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容

工作機械の設置場所及び分別作業を行うための作業場所について、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。また、現状で作業場所がない場合には、その状況を記載してください。

	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他（工作機器の置場所がない）	隣地使用の承諾済、道路占用許可済、道路 使用許可済

- ・廃棄物を分別する空地が不足しているため、隣地を借用する
- ・立木の除去を行う
- ・敷地が狭いため、道路を一時的な機械設置場所として使用するため道路使用許可を得る など

廃棄物の発生する現場から、搬出を行う道路までの搬出経路の状況について、段差、樹

木、工作物などの障害物の有無や通学路の有無を該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。なお、搬出入に利用する道路の幅員、その他、交通規制の状況などチェックボックスにないものはその他に記載してください。

工事着手前に実施する措置の内容として、障害物がある場合や、前面道路の幅員が狭い場合には、その対策について記載をしてください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>12</u> m 通学路 ☐ 有 () ☐ 無 その他 (現道上のため支障なし)	鉄板敷きを施工し搬出入経路を確保

(工作物に関する調査の結果の記載例)

- ・立木あり、
- ・およそ 50 c m の段差あり、
- ・未舗装
- ・前面道路 (片側 2 車線、幅員 22m) など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・搬出入用道路が狭いため道路使用許可を得て通行止めを行い搬出する
- ・鉄板敷きを施工し搬出経路を確保する
- ・前面道路が狭いため 2 t トラックにて搬入 など

③特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）

新築工事の場合は記載不要です。維持・修繕工事若しくは解体工事する工作物等の特定建設資材に、吹付石綿等の付着物が有るか無いか、該当するチェックボックスにチェックマークを付してください。

また、付着物がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）	☒ 有 (吹付石綿) ☐ 無	適正処理の実施 近隣対策及び諸官庁届出済

(工作物に関する調査の結果の内容の記載例)

- ・特定建設資材に付着した飛散性の石綿
- ・特定建設資材に付着した非飛散性の石綿 など

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会とは協議済み、
- ・周辺住民への周知、
- ・吹付石綿の適正処理対策の実施 など

④その他

工作物解体時に有害物質の発生がある場合、種類、発生箇所等について記載してください。
また、有害物質の発生がある場合には事前措置の内容を記載してください。

例)

	工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
その他	無し	

(工作物に関する調査の結果の内容及び工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・鉄骨等の特定建設資材以外のものに吹付けられた石綿→諸官庁に届出後、着手前に適正除去
- ・非飛散性であるが適切な措置を講じないと解体により飛散することが見込まれる石綿
→湿潤化等の飛散防止を図り手作業で除去
- ・P C B使用トランス →諸官庁に届出後、着手前に撤去搬出
- ・P C B含有シーリング材 →分別して処分場で埋立若しくは焼却処分
- ・特定建設資材に付着していない飛散性の石綿 →諸官庁に届出後、着手前に適正に除去

(工事着手前に実施する措置の内容の記載例)

- ・自治会との協議済み、 ・周辺住民への周知、 ・吹付石綿の適正処理対策の実施、
- ・P C B使用機器の適正処理の実施 など

(6) 工程ごとの作業内容及び解体方法

新築工事、維持・修繕工事の場合も、各工程の解体工事の有無に係らず、各工程の有無についてチェックをしてください。

①仮設

仮設工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。また、解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェックボックスにチェックマークを付してください。

仮設には一般的にバリケードや保安灯の設置等も含まれますが、作業内容における「仮設工事」は、足場仮囲い、養生、山留工、栈橋工、覆工などの設置等をいいます。

②土工

土工工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。また、解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェックボックスにチェックマークを付してください。

なお、土木工事とは、路盤掘削、土砂等の掘削、盛土、埋戻し、締め固め等を行う工事をいいます。

③基礎

基礎工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。また、解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェックボックスにチェックマークを付してください。

なお、基礎工事とは、入孔や管きよの基礎、橋脚・橋台の基礎・基礎杭などの設置又は撤去をいいます。

④本体構造

本体構造の工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。

また、解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェックボックスにチェックマークを付してください。

なお、本体構造の工事とは、道路であれば舗装・街きよ等で、橋梁であれば橋脚・橋台・桁・舗装等、河川であれば堤防・護岸等の設置又は撤去をいいます。

⑤本体付属品

本体付属品の工事の有無についてチェックボックスにチェックマークを付してください。また、解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェックボックスにチェックマークを付してください。

なお、本体付属品とは、防護柵、照明設備、標識などで、具体的には道路や橋梁に取り付けられた照明、擁壁に添架されたガードレール、防音壁、電信柱に取り付けられた信号機、案内板、駐車場に設置されたゲートなどが考えられます。

⑥その他

その他の工事がある場合には具体的に記載してください。（①～⑤に該当しない工種などについて記載してください）

（７）工事の工程の順序（解体工事のみ）

解体工事の場合のみ記載してください。

「上の工程における⑤→④→③の順序」欄にチェックマークが付されない場合には、「その他」欄のチェックボックスにチェックを付し、カッコ内に具体的な順序の記載をしてください。また、「その他の場合の理由」欄にその順序によるべき理由の記載をしてください。理由としては、複数の工程を同時に行う場合や、一部の工程の工事が無い場合などが該当します。

（８）工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）

解体工事のみ記載してください。

なお、特定建設資材だけでなく全ての資材について記載されている必要があることから、

「(9) 廃棄物発生見込量」に記載された合計トン数以上の数字でなければなりません。ただし、解体工事と新築工事を同一契約で実施する場合には、「(9) 廃棄物発生見込量」の数字の方が大きくなる場合があります。

なお、数量については四捨五入による整数表示でかまいません。

(9) 廃棄物発生見込量

発生する特定建設資材廃棄物の種類ごとに該当するチェックボックスにチェックマークを付して、発生量の見込みを記載してください。「発生が見込まれる部分又は使用する部分」欄には、様式下欄の「(注)」に従い、以下のようにチェックボックスに適切にチェックマークを付してください。(コンクリート及び鉄から成る建設資材についてはコンクリート塊に含まれます。アスファルト・コンクリートとは「瀝青材料(アスファルト)」、「骨材」、「フィラー」、「安定剤」等からなる材料のことをいいます)。

なお、数量については四捨五入による整数表示でかまいません。

⑤ 「新築・維持・修繕工事」の場合

特定建設資材が使用される工作物の部分にチェックマークを付してください。

⑥ 「維持・修繕・解体工事」の場合

特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分にチェックマークを付してください。

⑦ 双方に該当する場合

該当箇所の全てについてチェックマークを付してください。

⑧ その他

使用する部分及び発生が見込まれる部分に関する記入欄のため、「種類」欄と「使用する部分等」欄は連動してチェックをお願いします。

新築工事等である場合において、特定建設資材が使用されるが、廃棄物が発生しない場合は、「量の見込み」欄に0(ゼロ)を記入してください。

(10) 備考欄

備考として記載する必要がある内容について記載してください。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()			
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☐ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材			
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 m その他()			
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()			
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()			
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(吹き付け石綿 等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有ビニル床タイル 等) ☐ 無 ☐ その他()		各工程に解体工事の有無を問わず、各工程の有無の記入をお願いします。	
	その他 (特定建設資材への付着物以外の有害物質等の状況) (その他必要事項を記載)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(鉄骨等に吹付けられた石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材 等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有建材) ☐ 無 ☐ その他() その他			
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設		仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	②土工		土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造		本体構造の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 ()		その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン			
廃棄物発生見込量 (注)	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
	使用又は発生が見込まれる特定建設資材(右欄)についてチェックをお願いします。使用の場合、コンクリート塊はコンクリート、As・コンクリート塊はAs・コンクリート及び建設発生木材は木材と読み替えてください。		☐ コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ 建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
備考		特定建設資材廃棄物の発生がある場合に発生見込み量を記入してください。		特定建設資材を使用する部分又は発生が見込まれる部分の記入をお願いします。	

□欄に記入してください。